

八千代医療センターからのお願い・お知らせ

■医療機関の先生へ

- ・ 地域連携専用: TEL: 047-458-6543 FAX: 047-458-6545
- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:30
※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4 休



- ・ 診察は原則、予約制ですので、「紹介状」をご用意いただき事前に予約をおとりください。
- ・ 予約外の患者さんは予約患者さんの合間に診察となりますので、お待ちいただく場合がございます。
- ・ 紹介状をお持ちでない患者さんは「初診時保険外併用療養費 ¥3,150」をお支払いいただきます。

■電話予約センターについて

- ・ 専用電話番号: 047-458-6600(患者さん専用)
- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～12:00(日曜、祝日、毎月第3土曜日休)
※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4 休

- ・ 予約時間等の変更時にも、必ず電話にてご連絡ください。

■検査連携について

- ・ 検査連携は、医療機関からの依頼のみの受付になります。直接、患者さんからの受付は出来ません。
- ・ 連携検査: CT、MRI(単純)、RI、X-P、マンモ、骨密度、セファロの画像検査のみ

■やちよ夜間小児急病センターについて

- ・ 専用電話番号: 047-458-6090 (医療相談は行っておりません)
- ・ 受付時間: 18:00～23:00
※予約は必要ありませんので、直接ご来院ください。



編集後記

当院では開院以来、「Ren-K」をテーマに地域連携・完結型医療を実現すべく、八千代市医師会をはじめ、近隣医療機関との前方・後方連携に努めてまいりましたが、今年4月からは地域医療支援病院の指定を受け、東葛南部地域の各医療機関との連携をますます強化していくこととなりました。医療支援室では、入退院コーディネーター看護師1名、ソーシャルワーカー3名、地域連携担当事務員4名が所属しており、これまでも地域の窓口としての役割を担い、スムーズな連携を心がけてまいりました。

今後もご不便・ご迷惑をおかけすることのないよう、医療支援室一同、皆様のご指導・ご鞭撻のもと、頑張りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

医療支援室長 縄島 正之 (ソーシャルワーカー)

今号よりデザイン・レイアウトを一新いたしました。地域医療機関の皆様と八千代医療センターの橋渡し役となるよう努めて参ります。どうぞ、よろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

地域連携担当: 近藤 悦子、村松 明美、菅野 誠子、熊谷 節



医療支援室のスタッフです



病院長再任にあたって — 東日本大震災に直面して —

東日本大震災が3月11日の午後発生いたしました。震災でお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災者の方々に謹んでお見舞い申し上げます。当時、新宿の本院におりました私は、船津副院長とPHSで連絡を取った後、すぐさま八千代に引き返し辿り着いたのは深夜でした。その間、病院においては災害対策本部が立ち上がり、進行中の手術への対応、患者の安全確認、被害状況の確認などをおこなってくれました。多くの職員、特に、施設課の迅速な対応には病院長として頭が下がる思いです。

翌日には計画停電の実施連絡が入り、その準備に追われながら15日から28日まで、7回の計画停電が実施されました。多くの患者さんに大変なご不便をおかけしましたが、幸い大きな事故もなく今日に至っております。ホームページにおいて大震災対応を発信し、同時に、国や千葉県、東電に、計画停電のあり方について粘り強く要望書を出して参りました。被災地医療救護活動も千葉県チームにエントリーし、4月に2チームが当院から陸前高田市に入りました。同時に、震災直後より、在宅呼吸器患者、被災他県からの透析患者の受入れを市内病院と連携をとり行っております。八千代市が受け入れた被災者の方々の健康管理もいち早く当院の内科医師が対応してくれました。

このような大変な時期にありましたが、年度末には臨床研修医2期生を無事に送り出すことが出来ました。8名のうち、引き続き3名が当院の後期研修に入ります。また、新年度には10名(7大学)の4期生が入職いたしました。4年間、フルマッチを果たしたことをご報告申し上げます。

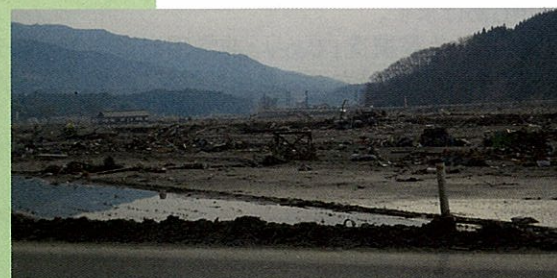
新年度より診療科再編を行い、30診療科・医師150名の態勢となりました。3月25日には、地域医療支援病院としての名称利用の許可が千葉県より下りました。東葛南部の行政、医師会、病院長の方々に多大なご支援を賜り、この場を借りて御礼申し上げます。東葛地区の皆様との連携をより一層深めて、社会的責務を果たせるように努めて参ります。

東日本大震災は、今後の日本のあり方、医療のあり方を大きく変えることとなります。千葉県は人口減少時代に近くなります。この度の震災が人口減少に拍車をかけるのではと危惧いたしております。人口密度の高い東葛地区と既に高齢化が始まっている半島地域、千葉県は極めて特徴的な人口構成になっておりますが、人口減少を緩やかに、可能であれば人口を増やしていただけるような施策にも貢献出来ればと希望します。高齢者が健康に暮らし千葉県から日本を元気に、同時に、将来の千葉県を支える新しい命の誕生にも寄与したいと願っております。

これからも、よろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

平成23年4月

病院長 寺井 勝



4月13～16日、陸前高田市に派遣された、八千代医療センター医療援助チーム第1次隊のメンバー。

目次

病院長挨拶	P.1
副院長挨拶	P.2
地域医療支援病院について	P.3
お知らせ	P.4



副院長からのご挨拶

この度、副院長職を継続し、医療局を担当することになりました。八千代医療センターも開院以来5年目を迎え、いよいよその真価を問われる年度にあたります。院内においては、医師にとって働き甲斐のある環境を整備する、未来に向け各科の目標達成のためのサポートをすることを目標にしたいと考えています。

また、八千代医療センターと周辺医療施設との機能分化と医療連携の一層の推進を重要課題と位置づけ、最善を尽くしていきたいと考えております。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

副院長 船津 英陽 (医療局担当・眼科)

この度、医療安全担当の副院長に指名されました。

八千代医療センターは高度な先進医療を地域の住民の皆様方に提供する目的で創立されました。しかし、高度な先進医療といえども安全な医療に裏打ちされていなければなんの意味もありません。そこで、従来からの“医療安全推進室”をさらに発展させ、“医療安全対策部”に昇格させ、さらに安全な医療を実施していくための機能をバージョン・アップいたしました。この取り組みの中で、医療安全、感染対策などの関する様々な問題点を発見し、適切な対策を講じていくと同時に、このような医療安全に対する職員の認識をさらに高め、地域の中核病院としての責務を果たしていきたいと存じます。

今後ともよろしく皆様方のご指導のほど、お願いたします。

副院長 新井田 達雄 (医療安全担当・消化器外科)

この度、副院長を拝命し医療支援局を担当いたします。

八千代医療センターが開院し4年5か月になりました。私の任務のひとつは医療連携の充実であります。皆様にはこのことにおきましてはこれまで格別のご配慮いただき、御礼申し上げます。

さてこのたび八千代医療センターは3月25日より地域医療支援病院となることが認可されました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。私は、これからもお互いもっと近づいた、紙面上ではなく顔の見える、また開かれた医療連携へと発展させていきたいと思っております。そのためにはお会いできる機会を増やしていきたいと思ひますし、その際には皆様のご意見・御要望をお聞かせいただきたいと思います。

今後、この医療連携をさらに緊密な関係へと進展させていくために、皆様の一層のご指導御鞭撻のほど、お願申し上げます。

副院長 橋本 尚武 (医療支援局担当・糖尿病・内分泌代謝内科)



*** 八千代医療センターの災害対策 ***

大震災以来、数日にわたる計画停電では、地域医療機関の皆様、患者さんにご協力をいただき、ありがとうございました。いまだ余震も多く、夏季電力需要も控えており、今後の情勢次第で、さらに節電を当局から求められる可能性がございます。皆様には、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、当院の建物は「免震構造」であり、非常用自家発電システムにて、突然の停電でも、制限付きながら診療を継続して行うことが可能です。また、地下水を使用しており、放射能汚染は検出されていません。

定期的に省エネパトロールを行って院内のエコ対策にも努めております。今後も、災害対策についての体制を整えてまいります。

病院長・施設課



八千代医療センターは平成23年3月25日より 地域医療支援病院に認定されました

平成10年度の第3次医療法改正にて、総合病院に代わり創設されたのが「地域医療支援病院」制度です。地域における第一線の医療機関である「かかりつけ医」を、紹介患者さんに対する医療提供・医療機器の共同利用等の実施等を通じて支援する能力および構造設備を有する病院を県知事が承認することになっています。

当院は、平成23年3月25日、千葉県・東葛南部地域の「地域医療支援病院」として認定されました。

地域医療支援病院の役割

これを機会に、より一層、医療機関や地域の医師会等関係団体の皆様との連携を強化するとともに、高度・専門医療を提供していきます。患者さんの病状に応じたより適切な検査・診療と継続・一貫性のある医療サービスの提供を行い、皆様に信頼される病院として地域医療に貢献していきます。

「地域医療支援病院」の主な承認要件

1. 紹介患者への医療提供
当院は他の医療機関からの紹介率が60%以上、他の医療機関への逆紹介率が30%以上の基準を満たしています。
2. 医療機関に、病院の施設・医療機器・ベッドを開放し共同利用する。
3. 24時間体制の救急医療を提供する。
4. 地域の医療従事者に対する資質向上の研修を実施する。
5. 地域連携の運用にあたっては、外部有識者による委員会を継続開催し審議を受ける。

今後の対応

今後も、急性期病院の担うべき高度・専門医療を一層推進するとともに、紹介外来制の推進、複数の医療機関の連携で作成する地域連携クリニカルパスの普及、地域の医療関係者の皆様に開かれた講演会・カンファレンスの開催など一層のネットワーク化も図っていきたく考えています。

当院の「地域医療支援病院登録医」を募集しております

登録医のメリット

- ・ 優先的な診察および検査の予約(可能な限り調整いたします)
- ・ 登録医証および名札の交付
- ・ 院内情報の提供(広報誌等の配布)
- ・ 図書室の利用
- ・ 症例検討会や講演会・各部門勉強会のご案内
- ・ 受け持ち患者の診療録閲覧
- ・ 病床の利用(共同診療)

登録医申込書にご記入の上、八千代医療センター医療支援室 地域連携担当までお申込みください。
TEL: 047-458-6543 FAX: 047-458-6545



診療科 関連ニュース (H23.4月より)

◆消化器外科

旧・肝胆膵外科および旧・消化管外科を統合「消化器外科」といたしました。

◆内視鏡科

従来、消化器内科で受付していた内視鏡検査を、今後は内視鏡科にて担当いたします。

◆皮膚科

4月より、診察日が月～土(土曜は月2回)となっております。(従来、月・水)

◆心身医療科

診察は月曜日のみとなっております。(従来、月・木)

◆呼吸器外科

呼吸器・血管外科から名称を変更いたしました。(血管外科は平成22年より廃止しております)

勉強会のご案内

7月15日(金)17:30～
於 大会議室
クリニカルバス大会
「糖尿病教育入院パス」

医師・看護師・薬剤師・医事課等がクリニカルバスを検証・分析し、医療の質の向上を目指してディスカッションを行います。今回より院外の医療関係者にも公開で行います。皆様ふるってご参加ください。
*参加ご希望の方は医療連携室地域連携担当まで。